

# 東北東京間連系線のマージン設定フローの訂正について

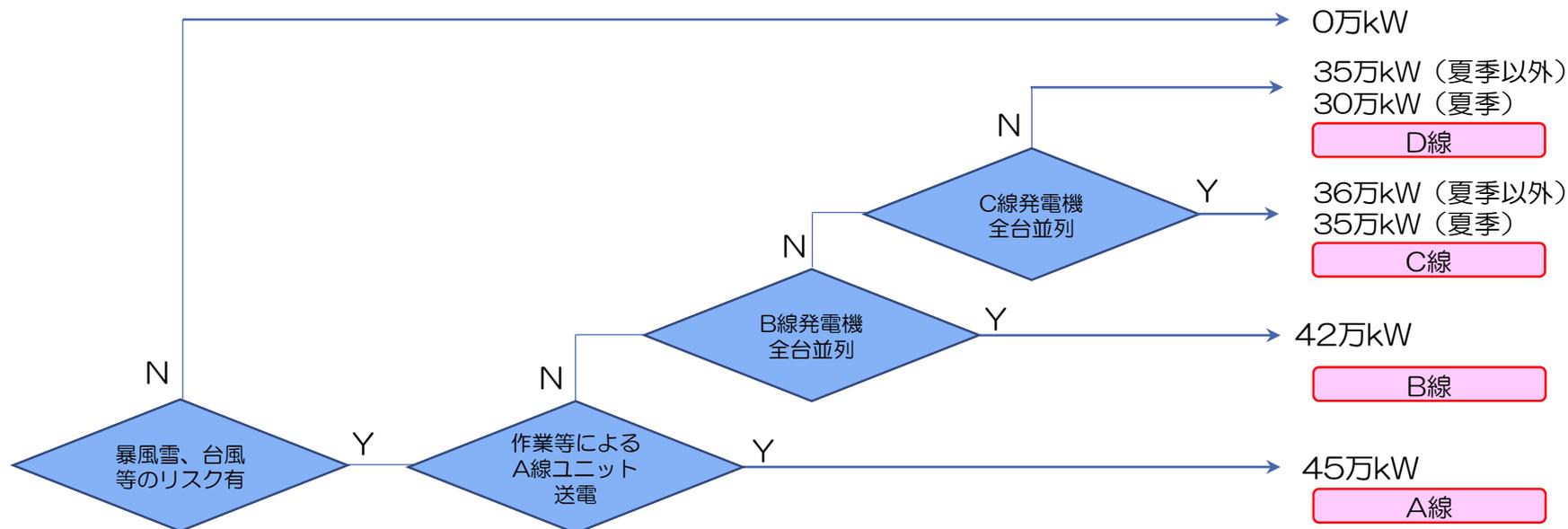
2017年 7月 5日

空白

# 1. マージン訂正の概要

- 2017年7月1日以降、以下のマージン設定フローに従い、設定することとしていた。
- しかし、D線のマージン設定量について実際の発電機の運用を正しく反映すると、
  - ・ 「夏季30万kW，夏季以外35万kW」から「夏季33万kW，夏季以外38万kW」
 に訂正する必要があることが判明した。
- 加えて、夏季以外については、C線の発電機が全台並列かどうかにかかわらず、D線の38万kWの方が大きくなることも考慮して、次のシートのとおり、マージン設定フローを見直すこととする。

## 【訂正前のマージン設定フロー（2017年7月1日～）】



## 2. 訂正後のマージン設定フロー（7月5日以降）

- リスクが顕在化している場合（暴風雪、台風等のリスクあり）で、以下の順序によりマージンを設定する。
  - ① 作業等によりA線がユニット送電となる場合は、45万kW
  - ② B線の発電機全台並列の場合は、42万kW
  - ③ 夏季以外の場合は、38万kW（夏季以外）
  - ④ 夏季でC線の発電機全台並列の場合は、35万kW（夏季）
  - ⑤ 上記①～④以外の場合は、33万kW（夏季）

### マージン設定フロー

- 翌々日マージン要否判断（毎日13時頃）
- 翌々日マージン開放後の再設定要否判断（都度）

注）夏季とは7/1～9/14を指す

